



図書館だより

SAKUらいぶ

2024/7

作新学院大学

113号

作新学院大学女子短期大学部

図書館

## 『君たちはどう生きるか』 宮崎駿監督作品について語る

作新学院大学 人間文化学部教授 牧 裕夫

小職は授業にてジブリ作品をよく取り上げている。その意義を多少まじめにコメントすると、ジブリ作品と分析心理学の C.G.ユングに相当深い関係性を見出すからだ。ユングによる深層心理で人類に太古から共有、培われた無意識で何が起きているのか宮崎作品ではよく描かれている。小職は授業中に「小職の授業よりジブリ作品を観た方が、発達心理がよくわかるよ」と伝えること常々である。

そんな授業を他県で従事した大学でも頻繁に話題にしたところ、11年前作新学院大学に採用された。勿論、本学作新の授業でもジブリ作品が小職授業で活躍している。一時期オープンキャンパスでも模擬授業で取り上げた。しかし当時のN担当課長からの「それはもう古いからやめて・・・」にて断念となったが・・・。

実は、宮崎駿が少年時代に東京から疎開した先が宇都宮市内であり、その家屋が今も残されている。昨年度、引退したはずの宮崎駿の映画『君たちはどう生きるか』が封切られた。自伝的作品で、その舞台は、(なんと)小学校時代に宮崎自身が疎開した宇都宮であり、前述の家屋も中心的な場面として登場する。小学校時代にその部屋で読んだ吉野源三郎 著『君たちはどう生きるか』が作品名となり、宮崎駿(今のところ)最後の作品となった。

以上でも小職にとって頻繁に引用する宮崎作品であるが、この映画の中で驚愕な場面が訪れた。ほんの一瞬であるが・・・、主人公が通う小学校のクラス名簿が映し出される。主人公の名前は小職と同じ「牧」だったのである・・・。

作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 図書館

TEL : 028-670-3652 FAX : 028-670-3619

E-mail : [tosyo@sakushin-u.ac.jp](mailto:tosyo@sakushin-u.ac.jp)

URL : <https://www.sakushin-u.ac.jp/library/>

# 絵本この一冊

☆図書館にある珠玉の一冊を紹介します☆

『藤城清治 影絵の絵本 アンデルセン』 藤城清治 作 E/Fu

藤城清治氏は、日本が世界に誇る影絵の巨匠です。彼の手にかかれば、単なる紙の切り抜きが、色彩豊かな光と重なり合い、幻想的で緻密な美の世界へと変貌します。彼の作品は、テレビコマーシャルなどでも目にする機会がありますが、その魅力は映像を超えています。

今年100歳を迎えた藤城氏は、依然として現役で活動を続け、YouTubeを通じてその制作過程を公開し、多くの人々にインスピレーションを与えています。

今回ご紹介するのは、アンデルセンの5つの物語を集めた一冊。「ひなぎく」「ハンスのもらった鳥かご」「眠りの小人のオーレおじさん」「小さいイーダの花」、そして「小さなもみの木」が、藤城氏の手による影絵と共に蘇ります。彼の影絵は、花びら一枚一枚に、子どもたちの表情に、生命を吹き込みます。哀愁を帯びた物語や教訓に富んだ寓話が、その繊細な影絵によって新たな輝きを放ち、読者の心に深く響くことでしょう。

子どもたちの想像力を育むこの絵本は、読み聞かせに最適です。図書館で見つけた際には、ぜひ手に取ってご覧ください。物語の世界が、子どもたちの心に新たな冒険をもたらすことでしょう。

## ●図書館 開館時間の延長について

試験期間に伴い、下記のとおり  
図書館の開館時間を延長します。

【期間】2024年

7/16(火)~8/2(金)の平日

【開館時間】

9:00~19:00

※7/20(土)の開館時間は9:00~13:30です。

※休館日、その他の期間は大学ホームページをご確認ください。

